

社会保障誌 2022 年 5 月号(初夏号)「憲法特集号」企画書

2022 年 2 月 21 日中央社保協

1. 企画目的

先の選挙により衆議院で改憲勢力が 3/4 以上を占め、自民党が改憲本部設置、維新が参院選の投票と同日で改憲の国民投票を実施すべきだと発言するなど、憲法改悪へ向けての動きが活発化している情勢を受け、中央社保協として「憲法 9 条と 25 条」など平和と人権を守り抜く立場で地域からの反撃を参議院選挙へ向けて行っていく上での学習・宣伝資材として活用できる特集号を作成する。

2. 企画内容(素案)

① 発行計画など

- ・ 発行日：2022 年 5 月 10 日・初夏号
- ・ 原稿締切：3 月 31 日
- ・ 発行部数：1 万部普及目標(内、定期購読約 2 千部)
- ・ 特集ページ数：32 頁を想定
- ・ 定価：550 円

② 活用のイメージ〈作成のねらい〉

できるだけ「分かりやすく・読みやすく」かつ「理論的にも明快」なものを目指したい。

理論的だが分かりやすく、たたかいに活用できるものを目指したい。

- ・ 社会保障運動に関わる個人・団体が、憲法 25 条など基本的人権・社会保障の歴史的な意義を知り、なぜ・どう改悪されようとしているのかを理論的に理解し、憲法 9 条改憲と合わせて 25 条などの改悪の問題点について分かりやすく解説し、理論的にも理解・把握し確信をもって反対運動へ邁進できる。
- ・ 市民への働きかけを行う上での「Q&A」を織り込み、確信を持った理論をより一層分かりやすく市民へ訴え賛同が得られるように工夫する。
- ・ 9 条など戦争放棄の改悪について他団体で様々な冊子や媒体が作成されることを前提に、それらと共にこの特集号を手に行っていることを想定する。

③ 企画内容

- ・ 5 月号企画の全体像
 - ✓ 特集の構成：「Q&A」、3 本程度の論文
 - ✓ 加えて：社会保障入門テキスト「補論」①＝「社会保障運動の変遷（闘いの歴史）」（世界的な視点ももって）〈別途、井口先生に依頼済み〉

【構成】

- ・ 中央社保協としてのたたかいの呼びかけ 〈2 頁〉
- ・ 憲法改悪の悪だくみ解説「Q&A」 〈8 頁〉 社会保障・基本的人権を中心に

・ 第1原稿(8頁)----支配者・自民党にとって、なぜ憲法・人権が邪魔なのか

執筆者:井上英夫(金沢大学名誉教授)

憲法改悪の全体的な動向・ねらいを知るとともに、憲法25条など「人権としての社会保障」に関わる条項をなぜ、どう改悪しようとしているのか、それは9条改悪、戦争する国づくりとどう結びついているのかなどを知る。

自民党の改憲草案を中心に改憲内容の基本点・問題点、特に「国民の権利と義務」部分の批判、なぜ、基本的人権を改悪し、どうしようとしているのか。

レ 憲法と基本的人権(人権)－人権とは何か 憲法の三本柱の一つ

レ「基本的人権は、侵すことのできない永久の権利」・「不可侵の権利」(憲法11条)と憲法改悪の意味

✓ 97条全文削除―「権利のためのたたかい」の否定

✓ 平和的生存権に関わって「9条と25条」の関係―前文全文削除の意味

・ 第2原稿(8頁) 人権としての社会保障の歴史と現在

執筆者:村田隆史(京都府立大学准教授)

憲法25条の成立経過やその本来の理念、またその理念に反した運用の実態などを確認しながら、憲法25条など「基本的人権」「社会保障」に関わる条項の今日的な意義、重要性を知る。

✓ 憲法25条など人権に関わる条項の成立過程(帝国議会)

✓ 憲法25条の内容、その解釈の変遷(社会保障制度審議会50年勧告など)

✓ 自民党政府による社会保障解体路線の歴史と国民のたたかい

✓ 自助・共助・公助論と人権としての社会保障―とくに「公助論」批判

・ 第3原稿(8頁)－人権後進国から先進国へ－憲法を守り、人権を発展させる

執筆者:高田清恵(琉球大学教授)

憲法25条は、生存権、生活権、健康権、文化的権利等人権を保障するものである。

97条も認める権利のためのたたかい、国民の「不断の努力」によって、将来にわたって憲法25条論を深化、発展させ、人権先進国にしなければならない。

社会保障運動発展の方向。

レ健康で文化的な最低限度の生活と向上増進義務

レ国際条約と社会保障―「十分(adequate)な権利の保障」

レ世界的な健康権の考え方と憲法25条の可能性―「到達可能な最高水準(the highest)の健康を享受する権利」

レ日本高齢者人権宣言策定運動―日本から国連・世界へ

【本特集とは別建てになるが】

・ 社会保障入門テキスト「補論」①(6頁) 執筆者:井口克郎(神戸大学准教授)

「社会保障運動の変遷(闘いの歴史)」(世界史的な視点ももって)〈別途、井口先生に依頼済み〉

以上

社会保障誌 2022 年 5 月号(初夏号)「憲法特集号」発行・普及計画書(第 1 次案)

20220304 中央社保協

1. 発行計画概要

- ① 発行日(納品日) : 2022 年 5 月 10 日・初夏号
- ② 原稿締切 : 3 月 31 日
- ③ 発行部数 : 1 万部普及目標(内、定期購読約 2 千部)
- ④ 定価 : 550 円(消費税込)

2. 1 万部普及計画

- ① 社保入門テキスト普及結果 6896 部 + 2 部 = 6898 部
 - ・ 定期購読 : 1992 部
 - ・ 社保学校普及 : 197 部
 - ・ 社保協ルート 1741 部、社保協その他 381 部 小計 2122 部
 - ・ 団体ルート : 民医連ルート 1589 部、全商連ルート 294 部、保団連ルート 279 部、医労連など労働組合ルート 338 部、民主団体ルート 37 部 小計 2537 部
 - ・ 個人ルート 48 部

※社保協各県注文状況(再掲) 22 県 1741 部

青森 30 部、山形 14 部、茨城 100 部、群馬 10 部、千葉 100 部、東京 104 部、神奈川 142 部、山梨 10 部、石川 200 部、福井 50 部、愛知 50 部、京都 250 部、和歌山 25 部、兵庫 10 部、島根 13 部、山口 80 部、徳島 20 部、香川 2 部、高知 140 部、福岡 140 部、大分 20 部、沖縄 111 部

② 普及重点目標(定期購読を除く 8000 部)

社保入門テキスト普及結果から

- ・ 47 都道府県社保協での普及 目標●●●●部
- ・ 運営委員選出中央団体での普及、特に代表委員選出団体での普及 目標●●●●部
- ・ 友誼団体での普及 目標●●●●部

※注意点は、民医連や医労連など県社保協と普及が重なる部分

③ 宣伝、申込などスケジュール

- ・ チラシの作成 完成日 3 月 14 日
- ・ 注文締切日 第 1 次締切 4 月 13 日、第 2 次締切 4 月 20 日
- ・ 印刷部数確定日 4 月 22 日・・・この時点で、第 1 刷部数を確定

④ 憲法改悪の悪だくみ解説「Q&A」(仮称)の抜き刷り印刷 無料普及計画

- ・ 本体冊子発行・普及収支差額を活用し、無料での配布・普及を行い、広範囲に広げる
※本体普及が推進されればそれだけ「Q&A」を広範囲に配布することができる
- ・ 普及部数の配分

中央社保協加盟全団体に一定部数を配分＋本体冊子の購入組織に部数に応じて比例配分
※印刷部数や注文状況にて配分数は検討

⑤ 連続学習会を計画する

- ・ 参議院選挙公示までに、4回の連続学習会を行う
- ・ 連続学習会の計画 日程は、今後、講師と要調整
 - 第1回 「Q&A」 講師：憲法会議
 - 第2回 支配者・自民党にとって、なぜ憲法・人権が邪魔なのか 講師：井上英夫
 - 第3回 人権としての社会保障の歴史と現在 講師：村田隆史
 - 第4回 人権後進国から先進国へ－憲法を守り、人権を発展させる 講師：高田清恵

3. 収支計画(概算)

① 第1刷で1万部印刷を想定 送料、振込手数料は注文者負担

- ・ 8000部普及想定

支出	1万部印刷費用、原稿料	180万円
収入	8000部普及想定	440万円(550円×8000部)
差額		+260万円
- ・ 1万部普及想定

支出	1万部印刷費用、原稿料	180万円
収入	1万部普及想定	550万円(550円×10000部)
差額		+370万円

② 「Q&A」印刷普及部数

- ・ 差額+275万円の場合 ●●万部
- ・ 差額+385万円の場合 ●●万部
- ・ 買取希望の場合 1部単価●●円

以上